やまびこだより No.153
中学生ボランティア新聞
社会福祉法人 ふれあいネットワーク 長野県社会福祉協議会
令和元年10月発行〈昭和51年12月1日発刊〉

特集テーマ

ふれあう心 地域の未来へ

ぼらっちくん

地域の人たちが集まる いきいきサロン活動に参加

飯綱町立 飯綱中学校

飯綱中学校では、全校生徒が町内の各地区34カ所のいきいきサロンに参加し、自分たちの暮らす地域が改めてどんなところなのか、自分自身の目で見て学ぶ体験学習をしました。

地域の「サロン活動」とは？

サロン活動は、高齢者や子育て中の親子をはじめとして、地域の人たちが気軽に集い、ふれあう場（サロン）をつくり、地域の仲間づくり、生きがいづくり、健康づくりなどを目的にしています。

いろんな人たちと話せてとても楽しかったです
地域の人の町に対する思い、僕たちへの思いを強く感じました。

地域の人たちの思いを知りました

●ゲーム

●おやきづくり

●お茶会

「楽しかったよ」「ありがとう」と言ってくださり、私たちもとてもうれしかったです。

手作りの漬け物やお菓子、お茶をいただきながら話をしました。会話が弾んで楽しかったです。

地域は 学びのステージ

地域に足を運び、実際に見て聞いて体験する大切さを学んでいます。

私たちの未来＝ふるさとの未来 …だから 私たちにできることは？

町の良さ・課題を知り、みんなが生きがいを持って暮らせる町について考えました。

1年 防災マップ作成フィールドワーク

2年 職場体験学習

3年 中学生議会で町に提言

一人暮らしのお宅へ ゴミ出しボランティア

松本市立 安曇中学校

毎週水曜日の朝、生徒会活動で、地区で一人暮らしをしているお年寄りの家のゴミ出しをお手伝いするボランティアをしています。

安曇中学校は松本市の西側、山々に囲まれた安曇島々地区にある全校16名の小規模校です。

高齢化と人口減少で過疎化が進む中で、地域の悩みに直接耳を傾けて中学校でも何かできることはないかと考え、昨年度からゴミ出しのお手伝いを始めることにしました。

私たちの学校では、こんな活動をしています。

各校のボランティア・地域活動の紹介

上田市立 第六中学校

一緒につくる・守る ぼくらの地域

地域の方とのふれあいを通してふるさとを大切にする心を育てる

地域を守る活動「火災予防」

公園の草取り

公民館の清掃

地域の方とおはぎ作り

私たち六中には、地域の方から学びたい、地域に貢献する活動をしたいという思いから、地区ごとで行う「ふるさとタイム」という活動があります。

7月には地域の公民館や公園などの清掃活動を行い「先生や役員の方と一緒に協力して山になるほどの草取りをして、地域の方に“ありがとう”と言われてうれしかったです」「公民館がきれいになってびっくりです。誰もさぼらず一人一人が一生懸命作業をしていて、とてもよいふるさとタイムになりました」といった感想をもちました。

四者会議

10月には、地域の方から学ぶ活動として、地域の方と一緒におはぎ作りをする・卓球をする・太鼓や華道を教えてもらうなど様々な活動をしています。地域の老人施設に出向き、交流をするところもあります。さらに、四者（地域の方々・保護者・先生・生徒）でよりよい学校生活について話し合う場として「四者会議」も行っています。

このような交流を通して、地域の中で支えていただいていることに気づき、地域への愛着を深め、感謝の気持ちを持ったり、地域の一員であることの意識を高めたりしています。これからも、地域とのつながりを大切にしながら、ふるさとタイムの活動を行っていきたいと思います。

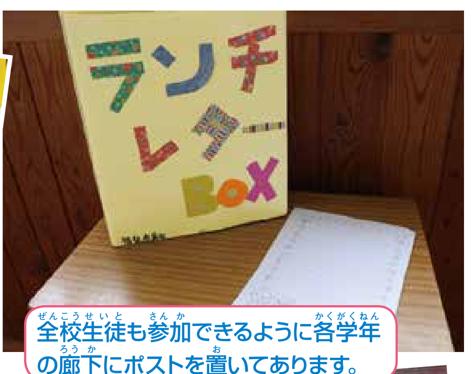
各校のボランティア・地域活動の紹介

須坂市立 相森中学校

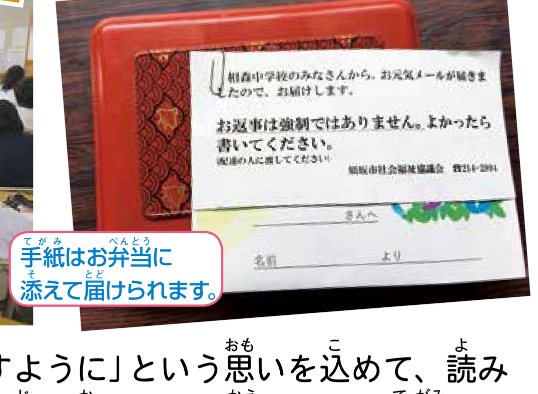
元気を届けるランチレター

ひとり暮らしのお年寄りへ、中学生の手紙を届けます

福祉委員会が中心となって定期的にランチレターを書きます。



全校生徒も参加できるように各学年の廊下にポストを置いてあります。


手紙はお弁当に添えて届けられます。

須坂市には、市内の小中学生が書いた手紙をお弁当に添えて、社会福祉協議会の方がお年寄りに届けてくれる「お元気メール」という活動があります。私たちは、自分たちが住んでいる地域の方と交流する機会を増やしたいと考え、昨年度からこの活動を「ランチレター」と呼び、参加させてもらっています。

手紙には、自分のおじいちゃんやおばあちゃんに送るように、学校であったことや今頑張っていることなどを書いています。「私たちの元気が伝わりますように、笑顔になってくれますように」という思いを込めて、読みやすいように大きな字で書きます。返ってくる手紙には「ありがとう」「頑張ってね」という言葉が書かれていて、私たちもそれを読むと元気をもらって、笑顔になります。

直接会えなくても心を通わせることができるこの活動のように、これからもいろいろな形で私たちの須坂市を元気にする活動をしていきたいです。

あの災害を忘れないで 長野県西部地震 災害の記憶を引き継ぐ清掃活動

王滝村立 王滝小中学校の取り組み

鎮め観音像周辺の草刈り清掃作業

地震が起きた翌年、犠牲になった方々を慰霊し、平和な王滝村の未来を願い「慰霊碑」と「鎮め観音像」が建立されました。

鎮め観音像の清掃

王滝小中学校では、長野県西部地震で犠牲になった方々の慰霊と、大災害の記憶を引き継いでもらいたいという王寿会（王滝村の老人クラブ）の皆さんと一緒に、20年ほど前から毎年、慰霊碑と鎮め観音像の清掃を行っています。

王寿会の方と

震災を風化させないために、また、王滝村の平和を願い、これからも王寿会の皆さんと一緒に心をこめた清掃活動を続けていきたいと思います。

長野県西部地震とは…

今から35年前の1984（昭和59）年9月14日に王滝村をおそった直下型地震。この地震によって、木曽・御嶽山の南側斜面が崩れ、大規模な土石流が発生し、王滝村では29名の尊い命が奪われました。

18歳までの子どもがかける「子ども専用の電話」

チャイルドライン

フリーダイヤル 0120-99-7777

困っているとき、悩んでいるとき、なんとなく「だれかに話したい」、そんなとき……気軽にかけてください。

★ちょっといいにくいことでも、名前は言わなくていいので安心して話してください。

★お説教はしません。
どんなことでも、いっしょに考えます。

みんなにカードが届くよ。フリーダイヤルでかけてね！

チャイルドラインはみなさんの赤い羽根共同募金が役立てられています。

あなたのまちのボランティアセンターへ行こう！

どこにあるかわからないひとはこちらまで！

●発行／お問い合わせ●
社会福祉法人 ふれあいネットワーク
長野県社会福祉協議会
まちづくりボランティアセンター
〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130
電子メール vcenter@nsyakyo.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp

公益社団法人 信濃教育会
〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyo.or.jp/

福祉の心 ふっころ 長野県社会福祉協議会公式キャラクター

やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページからPDFファイルおよび音訳データとしてダウンロードできます。
http://www.nsyakyo.or.jp